

D. カリキュラム（一般研修）

講師；株式会社 エス・キュー・シー 齋藤克裕 氏、大野友之 氏、落合宏樹 氏

【一般研修】		目的
	必修科目 1. ソフトウェアテストの基礎とテストプロセス	テストの必要性や テストプロセスの説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの必要性 ・テストとは何か ・テストの7原則 ・基本的なテストプロセス ・テストの心理学 <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア開発モデル ・テストレベル ・テストタイプ 【演習問題】 【確認テスト】 	
	必修科目 2. テストエンジニアのタスクと取り組み	各作業の考え方や取り組み 方についての説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・テストドキュメントのレビュー ・テスト分析と設計 ・テスト環境構築 ・テストデータの作成・入手 ・テスト実行・テスト結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント報告 ・テスト自動化 【演習問題】 【確認テスト】 	

E. カリキュラム (専門研修 その1)

講師 ; 株式会社 エス・キュー・シー 齋藤克裕 氏、大野友之 氏、落合宏樹 氏

【専門研修】		目的
選択科目 1. テストの計画と見積もり <ul style="list-style-type: none"> ・テスト戦略や目的の具体化 ・テストの開始/終了基準の定義 ・テストの範囲(テスト対象の抽出)やテストレベルの定義 ・工数やコストの 見積りやリソースの確保 ・テストの実施方法、進捗管理方法の計画 ・テストドキュメントの詳細、テンプレート等の定義 ・テストフェーズ日程(設計/実行等全て)とリソースの割当て 	<ul style="list-style-type: none"> ・BTSの選択やインシデント管理の計画 ・リスクと対策案 ・制限や制約の明確化 ・成果物の定義 ・テストレベル毎のテスト計画 	テスト計画書の書き方や計画方法の改善
	<ul style="list-style-type: none"> 【演習問題】 【確認テスト】 	
選択科目 2. テスト分析とテスト設計 <ul style="list-style-type: none"> ・テストベースの選定 ・テストベースレビュー ・確認項目の抽出 ・テスト観点出し ・テスト設計技法の活用 <ul style="list-style-type: none"> 1.同値分割法 2.境界値分析 	<ul style="list-style-type: none"> 3.デシジョンテーブルテスト 4.状態遷移テスト 5.ユースケーステスト 	テスト項目作成の精度向上を目的とする内容
	<ul style="list-style-type: none"> 【演習問題】 【確認テスト】 	
選択科目 3. レビューの目的と技法 <ul style="list-style-type: none"> ・静的テストとは ・レビューの目的と重要性 ・レビュープロセス ・レビューの役割と責任 ・レビューの種類 	<ul style="list-style-type: none"> 【演習問題】 【確認テスト】 	静的テストの重要性と具体的なレビュー技法の説明

E. カリキュラム（専門研修の続き その2）

	<p>選択科目 4. テストの管理（分析とコントロール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストの進捗状況(消化率/合格率) ・テストカバレッジ ・終了基準の達成状況 ・不具合発生状況 <ol style="list-style-type: none"> 1.不具合検出率 2.機能単位の不具合混入率 3.残不具合 	<p style="text-align: center;">目的</p> <p style="text-align: center;">進捗管理や問題分析、 構成管理等の説明</p>
	<p>選択科目 5. テストプロセス改善（テストの効率化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト効率化の観点 ・テスト計画の効率化 ・テスト設計の効率化 ・テスト実行の効率化 ・テスト自動化ツールの活用 	<p style="text-align: center;">目的</p> <p style="text-align: center;">テストフェーズにおける業務 効率化やコスト削減</p>
	<p>選択科目 6. 単体テストの精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単体テストの目的と重要性 ・コードレビューと単体テスト ・単体テスト計画 ・単体テスト設計と技法 ・カバレッジの考え方 ・グレーボックステストの活用 <ol style="list-style-type: none"> 1.ステートメントカバレッジ 2.デジジョンカバレッジ 他 	<p style="text-align: center;">目的</p> <p style="text-align: center;">単体テストの計画/設計/ 分析等に特化した内容</p>
	<p>選択科目 7. ソフトウェア品質保証と品質特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質保証の概念 ・テストと品質の関係 ・ISO9126品質特性について ・品質改善アプローチ ・非機能テスト、受け入れテストへの反映 	<p style="text-align: center;">目的</p> <p style="text-align: center;">品質保証、 品質管理に特化した内容</p>

F. eラーニングの運用方法

- ・研修生毎に受講IDを付与。
- ・カリキュラム単元毎に選択式の確認テストを実施し、スキル習熟度を確認します。
- ・確認テストは、予め設定された正答率を閾値として、合格／不合格を研修生に伝え、復習の必要性を伝えます。
- ・確認テストは何度でもトライできます。
- ・確認テストは事務局が毎日確認し、各研修生の進捗状況と理解度をモニターします。
- ・モニターした結果を週単位で研修生の所属上長へ送付し、状況を共有するとともに、必要に応じた対応を依頼します。
- ・研修生間での意見交換や講師に対する質問および、eラーニングについての質問など、フォーラムコーナーを設けています。研修生からの問い合わせを事務局から講師へ転送し、講師からの回答をフォーラムへ反映します。
- ・各コンテンツ確認テストの結果および、フォーラムコーナーの内容を週単位で講師へ送付し、各研修生の習熟度について確認します。

G. フォローアップ講座

一般研修および、専門研修のeラーニング時の疑問点や不明点を集合研修方式で解消していきます。また、3～4人のチームで演習問題を通して解決策に関するアイデアの精査、整理、他者への説明資料の作成、発表などにより、『自ら考え自発的に提案する力』の強化を図ります。

H. 総合研修

一般研修及び専門研修で培った知識と技能に関し、講師が習熟度の確認を行い、強化が必要な領域を補講します、また、より実践的な演習を通して『自ら考え自発的に提案する力』の定着を図ります。

I. 成果測定

アセスメントテストと同レベルの難易度で異なる質問から成るテストに参加いただきます。その結果をアセスメントテストの結果と比較することにより、プログラムの成果測定に一部に用います。テスト結果は、研修生と上長へ通知し、現場での継続的な成長の参考に活用いただけます。

以上